

徳成寺 寺とかわら版 第119号 2016年 11月

いつもありがとうございます。住職の大山です。

先日今年のノーベル賞の発表がありました。今年も期待されながら

受賞を逃した方や、折角受賞したのに連絡が取れない方などおられ、大きな

注目が集まりました。その一方で日本人でこの度医学生理学賞を受賞した東工大

名誉教授の大隅良典さんは、「日本人のノーベル賞受賞者が毎年出ているからとい

って浮かれている状態ではない」と短期間で研究成果を求める日本の状況に警鐘

を鳴らしました。基礎研究と言う、自分が不思議に感じたものを役に立つとか立

たないとか関係なくずーっと見つめ続けることの大切さを訴えておられます。

世の中全体に最適なものは、長期間に渡って最適なものであるはずです。

人類を何千年も見つめ続けてきた仏の智慧が顧みられる時がまさに今です

発行責任者
住職
大山健児
坊守
大山いし



*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

どうも、長男です。

新聞やニュースで、某広告代理店勤務の女性社員が過労自殺した事が大きく取り上げられていました。

私は彼女のように一流大学を出た訳でも、一流企業に就職した訳でもないのに一概に比較できませんが、大学を卒業して社会に出た当初辛い時期がありました。

追い詰められ無残にも亡くなった方がいて、それをよくある事だと片付けられたとしたら、とても胸が痛みます。

社会の歪みが正される事を切に願う 10月でした。

写真は東京・新宿の夜景です。

